

熊本県言語聴覚士会

Speech Language Hearing Therapist

会報 **KSTNET**

第30号 2007年7月1日発行



発行：熊本県言語聴覚士会

直通ダイヤル 070-5961-4461(受話専用)
〒862-0913 熊本市尾ノ上1丁目14-27
熊本託麻台病院(事務局)
TEL 096-381-5111(内線228)
FAX 096-381-5115
E-mail: takumadai-st@horio-kai.or.jp

編集：広報部

〒869-3205 宇城市三角町波多2864-111
メディカル・カレッジ香照館
TEL 0964-54-2211
FAX 0964-54-2213
E-mail: yamaguchi@sei-shoukan.ac.jp

責任者：山口 信

会長からのメッセージ



熊本県言語聴覚士会 会長 小園真知子

熊本県の「言語聴覚士の日」を成功させよう！

本年度の熊本県言語聴覚士会総会は6月23日に開催され、会員の半数以上である100名あまりの参加を得て新役員および事業計画が承認されました。

このたび晴れて国家試験に合格し、熊本県言語聴覚士会に入会された皆様、おめでとうございます。当会は2005年より日本言語聴覚士協会との協力体制をとり事業を進めておりますので、当会入会と同時に日本言語聴覚士会への入会手続のほうも速やかにお願いたします。

私たち言語聴覚士は、他の医療関係の有資格者に比べると歴史が浅く、数も少ない職種です。私は会の代表としていろいろな会合に出席させていただきますが、まだまだ医療福祉関係の従事者にさえ正しく認知されていないことを実感しています。地域で言語聴覚士を必要としている方々に十分なサービスを提供するためには、まずは私達の存在を知っていただくことが第一です。

言語聴覚士の啓発活動は、日本言語聴覚士協会はもちろんのこと、本会も努力していま

すが、真の力になるのは会員一人一人の活動です。皆さんが他職種や患者家族を始めとする周りの人々に正しい情報を伝えることから、言語聴覚士への理解が広がっていきます。

本年度より、9月1日を「言語聴覚の日」と定めることになり、日本言語聴覚士協会のホームページにもありますように、東京では、アナウンサーの小林完吾氏を講師として言語聴覚の日のイベントが開催されます。

熊本県でも、ぜひこの機会に県民への言語聴覚療法への認識を高めようと、ブロックごとに地域への啓発活動を行います。各ブロック長を中心に準備を進めております。ポスターも作成し各施設に配布いたしましたので、ぜひこれを活用して「言語聴覚療法の日」の広報に努めていただきたいと思います。

会員の学習の機会としては、7月29日に日本言語聴覚協会の生涯学習研修会を開催いたします。生涯学習基礎講座のポイントが取得できますので、協会入会時に配布される生涯学習受講記録票をお忘れなくご持参ください。協会としては卒後3年目までに基礎講座、5年目までに専門講座を受講して修了書を取得するのを基本とし、その後専門言語聴覚士認定の計画がなされています。

12月2日には学術研究会を企画しています。ぜひ、研鑽の場として活発に研究発表に取り組んでください。その他、県内外の勉強会の詳細は、ホームページにありますので、定期的に情報収集をチェックしてください。

『言語聴覚療法を必要としている方々に十分な支援ができる』ことを目標に、会員の資質向上をはかっていきたいと思います。

ブロックだより

- 北部ブロック
荒尾・玉名・山鹿・鹿本
- 東部ブロック
菊池・阿蘇
- 中部ブロック
熊本
- 南部ブロック
益城・八代・人吉・球磨・水俣
- 西部ブロック
宇土・天草



[北部ブロック報告]

北部ブロック春期勉強会が、6月8日(金)PM7:00より菊南病院、言語室で開催されました。テーマを「憂い」として新人より北部脳神経病院の飯村知巳先生、山鹿中央病院の井上絢先生、中堅より朝日野総合病院の原口昭博先生、当院の宮本が報告致しました。新人さんでは、他部署との連携あるいは訓練に関する悩み、また、中堅どころでは実習生指導、保険改正に関しての家族への関わりの悩みなどが報告され、各施設のベテランの先生からたくさんの意見をいただき、報告者以外の施設の方にも参考となるアドバイスとなったようでした。当日の参加者は25名で、予想した人数よりたくさんの方が参加してください、会場が手狭となり、参加者の皆様には大変ご迷惑をおかけ致しましたことお詫びいたします。次回、北部ブロック秋期勉強会は10月21日(日)姫路獨協大学 准教授 福永真哉先生をお招きして構音障害の評価と訓練(仮)に関して講演を予定しております。福永先生は、以前、日本ディサースリア臨床研究会九州地区代表をされていまして。標準ディサースリア検査の解釈が難しいところ、訓練で悩んでいるところをどしどし質問して、臨床の悩みの解決の糸口になるような講習会にしたいと考えています。みなさん多数の参加宜しくおねがいたします

北部ブロック 大塚裕一



[東部ブロック報告]

今年度第1回目の東部ブロック勉強会の案内です。

日時：7月27日(金曜日)19:00～

場所：熊本セントラル病院

内容：左被殻出血による失語症を経験して熊本セントラル病院 池田健吾先生

日本コミュニケーション障害学会の出張報告 熊本リハビリテーション病院 山下裕史先生

皆様の多数のご参加をよろしくお祈りいたします。

熊本リハビリテーション病院 山本由佳



[中部ブロック報告]

中部ブロックでは6/21(木)に勉強会を、“メディカルケアセンターファイン”と“おとなの学校 本校(旧博寿園)”で開催しました。今年度初めてのブロック会だったので、自己紹介をしたり、今年度の活動計画を話し合いました。

また、おとなの学校本校の白木先生より『介護老人保健施設で働くSTの現状』を、メディカルケアセンターファインの福本先生より、失語症症例の報告をしていただきました。おとなの学校では、学習療法を積極的に取り入れておられ、そのためSTの訓練時間を設けることが難しいとの話でしたが、他の老健勤務の先生方からいろいろとアドバイスがありました。症例検討では、実習生指導の方法等も含め、バイザー経験のある先生方からのアドバイスがありました。

今回は言語聴覚の日のイベント開催へ向けて、打合せ等を8月に行う予定です。皆様のご協力をよろしく御願いたします。

熊本赤十字病院 前田紗知



[南部ブロック報告]

南部ブロック活動報告

南部ブロックでは平成19年6月9日(土)に介護老人保健施設ヘルシープラザ十六の濱華織莉先生に

よる勉強会が開催されました。

内容は①施設見学・紹介、②症例報告「食思向上による経口摂取の一症例」、③「NCM（栄養ケア・マネジメント）委員会の取り組みについて」でした。

症例検討では食思向上の為の様々な取り組みや工夫、段階的経口摂取訓練、他職種との連携などの紹介がありました。

維持期の高齢者で誤嚥リスクが高い症例への摂食・嚥下訓練や経口摂取といった身近に接する問題について活発な意見交換ができました。

次回は城南病院の江村貴文先生担当で勉強会を開催する予定です。詳細が決まりましたらご連絡します。ブロック内外を問わず多くの方々の参加をお待ちしています。

にしくまもと病院 中村舞



[西部ブロック報告]

第1回研究会報告

去る6月29日(金)、西部ブロック第1回研究会がニュー天草病院で開催されました。出席者は8名でした。

発表は青照館の山口先生で、演題は「臨床能力重視型教育への模索 第一報」についてでした。教育機関において学生に臨床場面を事前に模擬体験してもらい、コミュニケーションや各検査の実施をおこない、それを分析し学生にフィードバックするといったないようでした。私たちが学校で学んでいた頃にはほとんど実施されていなかったと思われる教育内容であり、先生方も大変興味をもたれ、終了予定時間をオーバーしての意見交換があり、有意義な研究会となりました。私自身もまだまだ臨床能力において未熟な部分が多く今回の研究会にてあらためて考えさせられることが多く、勉強になりました。

申し遅れましたが、今回西部ブロック長を務めさせていただくことになりました、特別養護老人ホーム楽洋の里(天草郡苓北町)池田聖司と申します。いろいろとご迷惑おかけすると思いますが、どうぞよろしく願いいたします。



平成19年度 第2回 理事会議事録

開催日時：平成19年7月6日(金) 19:00～20:30

開催場所：熊本託麻台病院

出席者：小藺、三浦、丸内、中村、山口、宮本、森田、陣内、下田、花生、重川、後藤、前田

書記：前田

【報告事項】*議案書参照

- ・日本言語聴覚士協会都道府県士会協議会
6月1日開催。協会の法人化は来年度以降になる予定。
- ・熊本県医療保険福祉連携学会
2008年3月2日、熊本市市民会館にて開催。特別講演はノーベル賞受賞者の小柴昌俊さんにと
いう案が出ている。
- ・熊本訪問リハビリテーション研究会
7月21日(土) 18:30～ 国際交流会館にて開催
- ・高次脳機能検討委員会
7月2日に下田先生が参加。
高次脳機能検討委員会研修会を10月に開催。
出席者が多いため、産文ホールにて開催。

ブロック報告

東部：7/24 熊本セントラル病院にて勉強会を開催。
言語聴覚の日のイベントの打合せを7/13に行う予定。

西部：6/22 ニュー天草病院にて勉強会を開催。参加者は8名。今年度からブロック長を池田先生に変更。7/13に懇親会を行う予定。

南部：6月に勉強会を開催。言語聴覚の日イベント開催場所は人吉の外山病院。

北部：6/8 菊南病院にて勉強会開催。9月か10月

に福永真哉先生にDysarthriaの講演を行ってもらう予定。言語聴覚の日イベント開催場所は菊南病院。8月よりチラシ配りを始める。

中部：6/21 メディカルケアセンターファイン、おとなの学校本校にて勉強会を開催。次回は8月に言語聴覚の日イベント打合せを行う予定。イベントの講師は東病院の花生先生。開催場所は食支援センターオアシス。

【検討事項】

- ・熊本市市民健康フェスティバル(宮本理事)
鶴屋 7F・パレア 10F にて開催される。ST のブースは昨年より少しだけ狭くなっている。内容は昨年と変わらず、脳力チェック・聴力検査・嚥下に関して。今年度は中部ブロックが担当。

- ・言語聴覚の日 (宮本理事)
演劇の脚本を熊リハ病院の山本先生からもらい、月曜日に青照館学生に渡す予定。1 ブロックに 7 名で、計 35 名必要。7/20 に事業部・学術研修部・ブロック長・会場になる場所の先生方と打合せを行う。場所は日赤病院。

ST 啓蒙の DVD 作成進んでおり、10 月ごろ完成予定。

三浦理事より・・・ポスター作成費用は誰に渡せばよい？ → 後ほど報告する

- ・会計より (三浦理事)
今年度より年会費を施設ごとに振り込んでもらうことにしたが、結果良好で、現在半分ほど集まっている。本日渡せる分の各費用は渡すので、領収書を返すように。

- ・生涯学習研修会 (下田理事)
7/29 済生会病院 C ホールにて開催。宮本理事・兼田理事に基礎講座を、小菌会長に教育講演を行ってもらう。現在申し込み 40 名程。県外からの参加もある。

会場費は 1 万円で、講師には交通費を支給する。

- ・小児の連絡会通信方法について (森田理事)
通信費がかかりすぎており、前回の理事会では現行のままとしたが、再度検討しなおし、県士会のブログに掲載することにしたい。どうしても紙面で必要な会員には郵送することにした。 ⇒ 承認。

次回の案内で県士会員に報告し、郵送して欲しい会員は小児の事務局へ直接連絡することとする。

- ・老健に勤務している ST の連絡会について (後藤理事)

現在老健に勤務している ST (13 名) に対し、アンケートを実施したい。

⇒老健併設で非常勤の ST もいるため、県士会員がいる全施設へのアンケートにしては？

→ もう一度検討し、理事メールにて承認を得ることとする。

- ・失語症のつどい (小菌会長)
次回は、有明成仁病院と山鹿温泉リハビリテーション病院が合同で開催する。

- ・失語症友の会連合会会議
規約作り等を行う為の会議を行う。会議の日程が決まり次第議案書を送るとのこと。

会議は現在のところ 7/21 (土) もしくは 7/28 (土) に開催する予定。

【事務局報告】

- ・名簿作成のための個人情報、あと 20 施設回収できていない。回収でき次第、名簿を送付する。
- ・山口先生のシティ FM 出演の市医師会事務局への連絡は、中村先生が行う。

【その他】

山口理事より・・・

- ・ KSTNET の原稿を出していない方は、できるだけ早く提出を。
- ・青照館の学生に、経済的問題で、学校に行けない学生がいる。病院で奨学金を出せるところはないか？

三浦理事より・・・

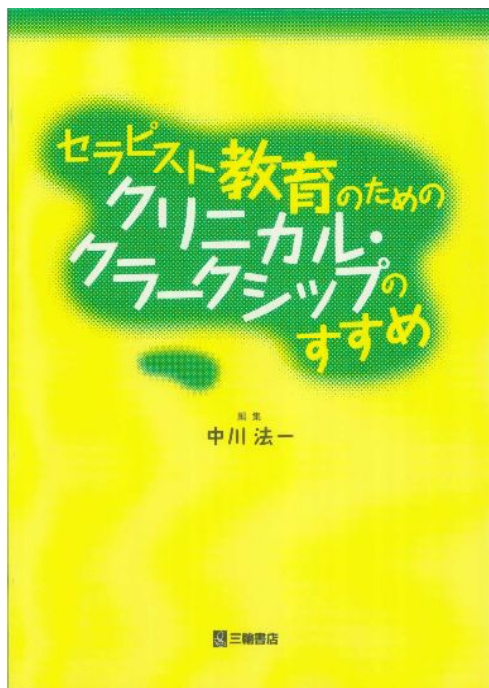
- ・鹿児島県出水の野津手 ST より相談があった。市の病院で勤務しているが、給与面に問題あり。国家資格になっていなかったころのことが絡んでおり、日本言語聴覚士協会のどこに相談すればよいか？ ⇒ 長谷川先生に相談してみる。

陣内理事より・・・

- ・熊本県難聴・言語障害教育研究会が平成 21 年度は熊本で開催される。会報の最後のページに相談機関を掲載したいが、3 年前のものなので、新しいものを掲載したい。小児の ST を行っている施設に電話連絡し、許可をもらう。



『セラピスト教育のための臨床・クラークシップのすすめ』



[編集] 中川法一 (関西医科専門学校)
 [出版日] 2007年5月30日
 [発行所] 三輪書店
 [紹介]

このままでは臨床実習が崩壊するという強い危機感から書かれた本です。

臨床実習の現状分析から、どのようにして事態を打開していくか、その一つの方策として「臨床・クラークシップ」が提唱されています。

もともとクラークシップは医師教育の理念と方法として始まったものですが、これを各著者の経験に基づいてPT・OT教育に取り入れていこうというものです。著者がPTということもあって、ST教育については述べられていませんが、十分参考になるでしょう。

詳しいことは本書に譲りますが、「患者さんを担当させられない」実習生や「レポートが書けない」実習生に困惑している指導者の方、押し寄せる多数の実習生の指導に疲労困憊している指導者の方、実習の現状に疑問を持っておられる指導者の方にぜひお勧めの一書です。



【平成19年第2回くまもと訪問リハビリテーション研究会講演会】

[日時] 平成19年7月21日(土) 18:00-21:10
 [場所] 国際交流会館 7F ホール
 [参加費] 会員 1000円 非会員 2000円
 [プログラム]

18:00- 受付
 18:30-19:45
 講演1『その人らしい生活を支える訪問リハ戦略』
 在宅りはびり研究所
 所長 理学療法士 吉良健司氏
 -休憩 10分-

19:55-21:10
 講演2『訪問リハビリテーションにおける言語聴覚士の役割 (仮題)』
 在宅総合ケアセンター元浅草
 言語聴覚士 山口勝也氏

[懇親会] 講演終了後 21:30より会場の近く (会費は4-5千円程度、場所未定)
 [申込] FAX またはメール
 [締切] 平成19年7月7日(土)
 [問合せ・申込先] FAX: 096-345-8188

E-mail: kuma-houmonn@mail.goo.ne.jp

【平成19年度熊本県言語聴覚士会生涯学習研修会】

[日時] 平成19年7月29日(日) 12:30 受付開始 13:00 講演開始
 [場所] 済生会熊本病院Cホール
 [参加費] 1000円
 [プログラム]

13:00-14:00 基礎講座「臨床業務のあり方・進め方」
 菊南病院言語聴覚士 宮本恵美氏
 14:10-15:10 基礎講座「職種間連携」
 介護老人保健施設リバーサイド御楽園
 言語聴覚士 兼田洋美氏
 15:30-16:40 教育講演「高次脳機能障害の評価と訓練の実際」
 熊本県言語聴覚士会会長
 ・熊本機能病院言語聴覚士 小菌真知子氏
 [参加申込]熊本リハビリテーション病院
 リハビリテーション部 言語聴覚科
 久池井 宛
 FAXにてお申し込みください FAX:096-232-3119
 [参加締切]平成19年7月14日

[失語症者・家族・援助者(専門職)の集い]

[日時]平成19年7月29日(日) AM10:00-PM3:30
 [場所]曾於市大隈文化会館
 889-8102 鹿児島県曾於市大隈町中之内 9146
 TEL:099-482-1216
 [参加料]1,000円(医療・福祉関係者)
 一般(学生含む)無料
 弁当代希望者のみ別途800円
 [問い合わせ先]ケアセンターやごろう苑
 担当:古一・徳留
 鹿児島県曾於市大隈町岩川 5515 番地
 TEL:099-482-5963
 HP:<http://www.yagorou.jp>
 E-mail:yagorouen@wine.ocn.ne.jp
 [プログラム]
 10:00-10:05 I 開会挨拶
 10:05-11:05 II 特別講演「失語症における効果的なリハビリとチームアプローチ」
 ～地域で失語症を支える仕組みとは～
 言語生活とリハビリ研究所
 代表 言語聴覚士 遠藤尚志氏
 11:05-11:40 III 活動、体験発表
 座長:ケアセンターやごろう苑
 言語聴覚士 逆瀬川倫明
 1. ご家族様体験発表
 2. ご家族様体験発表
 3. 失語症通所リハ「語らい」活動報告
 ケアセンターやごろう苑
 言語聴覚士 八木瑞恵
 11:40-12:30 IV 失語症ライブ
 言語生活とリハビリ研究所
 代表 言語聴覚士 遠藤尚志氏
 12:30-13:20 昼食休憩(50分)
 13:20-15:20 V 講演「地域で失語症を支える、失語症者、言語聴覚士になる」
 ～失語症者の在宅ケアの実践～
 <参加者全員による歌>「言葉を超えて」
 「おはら節」
 在宅言語聴覚士 平澤哲哉氏

[第31回高次脳機能障害学会総会]

[会期]2007年11月22日(木)・23日(金)
 [会場]和歌山県民文化会館
 [会長]板倉 徹(和歌山県立医科大学脳神経外科教授)
 [特別講演]「Traumatic brain injury/Post-traumatic amnesia/Cognitive rehabilitation」
 演者:Robyn Tate (University of Sydney)
 [シンポジウムI]「高次脳機能の局在とネットワーク」
 [シンポジウムII]「高次脳機能障害に対する治療の最前線」
 [カレントスピーチ]「高次脳機能障害患者に対する摂食嚥下アプローチ」
 演者:熊倉勇美(川崎医療福祉大学)
 [教育講演]
 1. 「記憶とその病態について」加藤元一郎(慶応大学)
 2. 「半側空間無視」前田真治(国際医療福祉大学)
 3. 「遂行機能障害の臨床」種村 純(川崎医療福祉大学)
 4. 「MCIと認知症」目黒研一(東北大学)
 5. 「注意障害とリハビリテーション」豊倉 穰(東海大学)
 6. 「中枢性聴覚障害」加我君孝(東京大学)
 7. 「感情に関連する発話意図の理解機能」今泉 敏(広島県立広島大学)
 [第31回総会サテライトセミナー]
 「失語症言語治療の最近の動向」
 会期:2007年11月24日(土)
 会場:和歌山県民文化会館
 [市民公開講座]
 「認知症の診断と治療」板倉 徹(和歌山県立医科大学)ほか
 会期:2007年11月25日(日)
 会場:和歌山県民文化会館
 [事務局]和歌山県立医科大学脳神経外科
 〒641-0012 和歌山市紀三井寺 811-1
 TEL:073-441-0609 FAX:073-447-1771
 E-mail:jshbd31-office@umin.ac.jp
 詳しくは<http://jshbd31.umin.jp>

編集後記

10年ほど前に学生として県内を見学して回ったときには30名ほどだったSTが今では200名超…!STの発展を喜ぶとともに、時の流れを感じます。(信)

yamaguch@seishoukan.ac.jp